

地域貢献サポートファンド みんな 運用細則

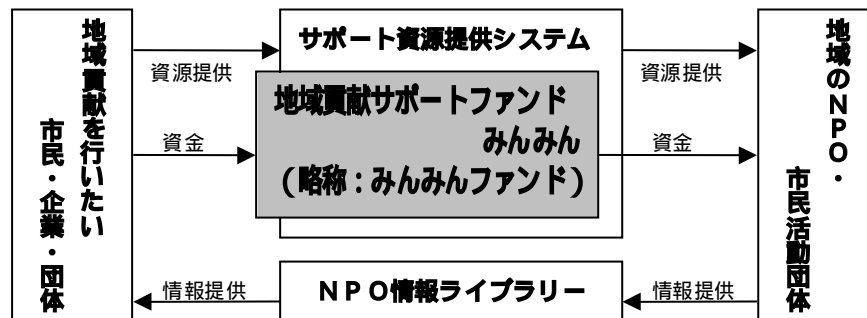
2003年 6月24日

特定非営利活動法人

せんだい・みやぎNPOセンター

みんなファンド事業概要（一部「運用規程」より再掲）

概念図



事業メニュー

1. 相談・コンサルティング事業

2. 資金提供事業

(1) 「本体ファンド」の運用

その用途が「みんなファンド」に委任（分野指定可）された寄付金について、一括して1つのファンドとして扱い、資金提供を行う。

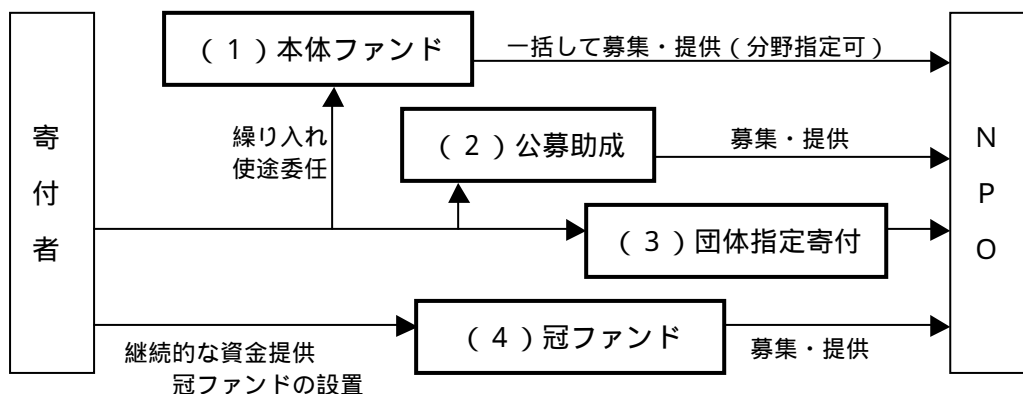
(2) 「公募助成」による資金提供

一定の条件で公募・選考を行った上で資金提供を行う。

(3) 「団体指定寄付」による資金提供

(4) 「冠ファンド」の運用

継続的な資金提供について、寄付者の名前等を冠した個別ファンドを設立し、資金提供を行う。



資金提供規模によるメニュー選択

預り額(*1)	(1) 本体ファンドへの繰り入れ	(2) 公募助成	(3) 団体指定寄付	(4) 冠ファンド
30万円未満		×		(*2)
30万円以上				(*2)

(*1) 預り額 = 資金提供額 + 後述の手数料

(*2) 下記参照

本体ファンドへの繰り入れについて

- ・以下の「分野指定」(あるいは無指定)の選択を可能にする。
 - (1) 福祉、保健・医療
 - (2) 子ども・青少年、文化・スポーツ
 - (3) 環境保全
 - (4) まちづくり、地域安全、災害救援
 - (5) 国際協力・国際交流
 - (6) 人権、平和、男女共同参画
 - (7) NPO・市民活動支援
 - (8) 地域情報化、雇用促進、産業育成
 - (9) 分野無指定(ファンドに運用を任せる)
- ・寄付者には、資金提供先の決定状況、資金提供先の活動状況などの情報を1年間提供する。

公募助成について

- ・上記の分野指定に準じた指定を可能とする。
例えば「子ども・青少年、人権、男女共同参画」といったように、複合的な分野指定も可能とする。
- ・公募の方法や選考方法・基準などについては、寄付者と協議の上、定める。
- ・寄付者には、資金提供先の決定状況、資金提供先の活動状況などの情報を1年間提供する。

冠ファンドによる資金提供について

- ・冠ファンドによる資金提供については、公募による助成を基本とし、その運営方法等については、上記「公募助成」の基準に従って、寄付者と協議の上、ファンドごとに定める。
- ・フロー型、造成型、取り崩し型、いずれの基金も可能とする。

みんなファンド運営事業に関わる手数料について

資金提供にあたっては、公募・選考の事務手続き、資金提供先の活動状況の報告、寄付の成果に関する情報公開など、様々なコストがかかる。これらのコストについて、寄付者側から一定の手数料をいただくことでファンドの運用を行う。

預り額 (*1)	(1) 本体ファン ドへの繰り入れ	(2) 公募助成	(3) 団体指定 寄付	(4) 冠フ ァンド
30万円 未満	預り額の10%	なし	預り額の5% か 1万円の多い 方(*2)	(*3)
30万円 以上 1,000万 円未満		助成事業の全面委託 預り額の20% 募集・審査等の アドバイスのみ 預り額の10%		(*3)
1,000万 円以上	応 相 談			

(*1) 預り額 = 資金提供額 + 手数料

(*2) コンサルティング等の程度による
小額の場合は、応相談。

(*3) 下記参照

冠ファンドにおける手数料について

上記基準に準じて、寄付者と協議の上、個別のファンドごとに定める。

「本体ファンド」の運用について

「本体ファンド」について

みんみんファンドの資金提供中核プログラムとして「本体ファンド」を設置する。寄付者から預かった寄付金のうち、その使途の選考がファンドに一任されたものについて、一括して「本体ファンド」として扱う。個別の善意を1つのファンドに集めて助成プログラムを構築することで、より効果的・戦略的な助成を行うことを目指す。「本体ファンド」は、每期受け入れた資金をそのまま助成にまわす「フロー型基金」として運用するものとする。

「本体ファンド」の助成プログラムについて

既存の助成金のプログラムは、先駆的なモデル事業への助成や、新規事業開拓への助成、団体の立ち上げ支援等、団体の成長・発展に重点が置かれたものとなっており、結果的に助成を受けたNPOの運営の重荷となる例が目立つ。

このことを鑑み、「本体ファンド」では、むやみな成長指向を助長するのではなく、「社会的に必要とされながら、これまで支援の手が差し伸べられてこなかった団体について、その団体の実績を踏まえ、今後安定かつ継続的な事業展開をしていくための支援となる」ような助成プログラムの開発を目指す。

「本体ファンド」の運用について

「本体ファンド」の運用にあたっては、「本体ファンド運用委員会」を設置することができる。その詳細については、別途定める。

募集スケジュールについて

毎年4月と10月をめぐり、年2回以上の公募を行うことを基本とする（2003年度は初回7月）。ただし公募時点の本体ファンド総額が30万円未満の時は公募を見送り、次回に繰り越すことがある。

「冠ファンド」の運用について

「冠ファンド」の運用については、「本体ファンド」の基準に沿って、個別ファンドごとに寄付者と協議の上定める。

（以上）